

# 鋼トラス橋格点カバー工法

トラス格点部への劣化因子の侵入を防護する。

この工法は、あらかじめ鋼トラス橋の格点部を覆うことで腐食要因の侵入を防止し、劣化の進行を遅らせる工法である。したがって、予防保全としての効果が期待でき、維持管理費の縮減が図られる。



トラス格点カバー

施工性

使用部材は、工場で加工を行うので、容易に取り付ける事ができる。

経済性

予防保全としての効果が期待でき、維持管理費の縮減が図られる。

耐久性

腐食要因の侵入が少なくなり、格点部の腐食予防機能が向上する。

## 鋼トラス橋格点カバー工法の特徴

- ①トラスのカバーは、国土交通省や道路公団など、透過性遮音壁としても実績があるポリカーボネートを使用しているため、耐久性に富み、耐衝撃性・耐熱性に優れている。
- ②トラスカバーは、透過度(全光線透過率80~95%≒ガラス\*)が高く、外側から内部が明視でき、点検が容易である。
- ③カバー上面は、傾斜が施されており、塵や埃が表面に付着した場合、降雨時に容易に流れる構造となっている。
- ④カバーは、格点内が出来るだけ湿潤しないように、通気性を高める様な構造となっている。

\*透過率数字は、日本プラスチック協会の資料を基にした。

鋼トラス橋格点カバー工法で、  
格点部の延命を。